

川根本町 図書室だより

2月

2022年2月号

- ・文化会館図書室(小長井)
 - ・山村開発センター図書室(上長尾)
 - ・移動図書館車やまびこ号:川根本町内7コース
- TEL:0547-59-3106(文化会館)
TEL:0547-56-2231(山村開発センター)

- ☆ 開室時間:午前9時～午後5時
- ☆ 休室日:月曜日・第3日曜日(20日)・祝日の翌日(12日・24日)
- ☆ やまびこ号巡回コースは



川根フォン、町のホームページでご確認いただけます。
なお、年間予定表は図書室で配布しています。

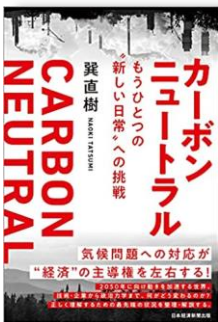
新 着 図 書

『カーボンニュートラル もうひとつの“新しい日常”への挑戦』

巽直樹 著
日経BP

気候問題への対応が
“経済”の主導権を左右する!

【スポーツ】文



カーボンニュートラルという、もうひとつの「新しい日常」の全体像をザックリと把握し、現在何が起きているのか、課題は何か、2050年に向けて今後どのようなことが起こり得るのか、ビジネスにはどのような影響があるのかを、これまでの脱炭素政策の動向も踏まえ、やさしく解説する。

『おとなの青春18きっぷの旅』

宝島社 編集
宝島社

列車でしか出会えない景色がある

【旅】山



旅の提案は、拠点滞在型で旅をする「おとなの旅」。宿泊地を決めてそこを拠点として移動することで、混雑しがちな大都市部の移動は特急や新幹線、飛行機の移動で快適に。そして滞在拠点から18きっぷの旅へと繰り出す、新しい提案を盛り込んでいます。青春18きっぷの基本をおさえた入門書。

『MONOQLO the Best 2021～2022』

モノクロザベスト 著 晋遊舎

本当に買うべき厳選アイテム

【実用】文

6年分の良いモノ総決算! テストするモノ批評誌が厳選した、各ジャンルのベストバイと、いまだそれを超える商品がない殿堂入りベストバイ699製品を紹介。ワーストバイも公開。



『渡る世間にやじ馬ばあさん』

橋田壽賀子 著
大和書房

橋田壽賀子のことば

【エッセイ】山

95歳まで現役。名脚本家がつらぬいた痛切な人生! 1960年代～2021年に様々な媒体で発言したことば、著書の中で書かれたことばを厳選して収録する。最期のメッセージも掲載。



文化会館図書室所蔵

山村開発センター図書室所蔵

● 『月夜の森の梟』 小池真理子 著 朝日新聞出版

作家夫婦は病と死に向きあい、どのように過ごしたのか。残された著者は、過去の記憶の不意うちに苦しみ、その後を生き抜く。心の底から生きることを励ます喪失エッセイ。

エッセイ

● 『御坊日々』 畠中恵 著 朝日新聞出版

明治20年、東京浅草の東春寺は、相場師も兼ねる僧侶・冬伯と弟子の玄泉が切り盛りしている。経営不振に悩む料理屋の女将・お咲が寺を訪れ、店に“幽霊”が現れたというが…。全5話を収録。

小説

● 『笑うマトリョーシカ』 早見和真 著 文藝春秋

圧倒的な魅力で、官房長官に上り詰めた青年代議士と秘書。彼らに違和感を持った女性記者が、隠された過去を暴くため、取材を重ねるが…。

小説

● 『ミニシアターの六人』 小野寺史宜 著 小学館

銀座のミニシアターで、亡き末永静男監督の追悼上映が行われた。観客は六人。彼らの人生と、映画のストーリーを歩き来しながら、出会いとすれ違い、別れを繰り返す日々の中にある奇跡を鮮やかに描く。

小説

● 『剛心』 木内昇 著 集英社

天涯孤独の身で17歳にして単身渡米。帰国後、西欧の新しい技術に学んだ“江戸の再興”を心に誓い、国会議事堂の建設へと心血を注ぎ…。近代日本の礎を築いた妻木頼黄の生涯を描く。

小説

● 『おはようおかえり』 近藤史恵 著 PHP研究所

大阪で70年続く和菓子屋の姉妹、小梅とつぐみ。ある日、43年前に亡くなった曾祖母の魂がつぐみに乗り移り…。和菓子屋の家族が織りなす、明治と令和を繋ぐ物語。

小説

● 『残照の頂山女日記続』 湊かなえ 著 幻冬舎

日々の思いを噛み締めながら、一步一步、山を登る女たち。通過したつらい日々は、つらかったと認めればいい。山頂から見える景色は、これから行くべき道を教えてくれる。

小説

● 『フェイクフィクション』 菅田哲也 著 集英社

元キックボクサーの潤平は、同じ職場に入ってきた美祈に一目惚れするが、彼女は新興宗教「サダイの家」に関係していた。一方、男の首なし死体が発見され…。疑いなき信仰心に警鐘を鳴らす長編。

小説

● 『遠慮深いうたた寝』 小川洋子 著 河出書房新社

日々の出来事、思い出、創作、手芸、ミュージカル…。温かな眼で日常を掬い取り、物語の向こう側を描く、9年ぶりのエッセイ集。

エッセイ

● 『夜叉の都』 伊東潤 著 文藝春秋

頼朝亡き後も武士の府を守るため、弟の義時とともに政敵を排除する謀略を次々と仕掛け、修羅の道を進む北条政子。鬼となって幕府を守り抜いた“尼將軍”を描いた歴史巨編。

小説

おすすめ!



(文化会館所蔵)

『ヒュッグ 365日シンプルな幸せのつくり方』

北欧に学ぶ冬を楽しむ工夫

ヨーロッパ社会調査機関によると、デンマーク人は「ヨーロッパでいちばん幸せな国民」とであると同時に「友達や家族といちばんよく会っている国民」「もっとも心が落ち着いていて、穏やかに生きている国民」であるそう。そんなデンマークの人々がとても大事にしている言葉がヒュッグ。それはデンマーク語で「心がふんわり温かくなる方法」のこと。

寒くて、日照時間が短い冬。家の中にいる時間が自然と長くなります。早起きもしにくく、動くのも億劫。そんな自分を堂々と許しつつ、どのように自分のご機嫌をとり、冬を最大限楽しむのか？寒さと暗さを逆手にとって、幸福度を上げるヒントがこの本に沢山つまっています！

図書室スタッフs